



新たに開園した中尾谷公園
〔令和元年度一般会計補正予算(第1号)関連〕

6月定例会 6/7～6/28

市長提出議案6件を可決・同意 全会一致で決議を可決

6月定例会では、「市税条例等の一部を改正する条例」など、市長から提出された6件の議案を審議し、いずれも原案のとおり可決・同意しました。

「天皇陛下御即位を祝す賀詞に関する決議」が議員提出され、採決の結果、賛成全員により可決しました。(下段に全文)

個人・団体から提出された陳情3件については、1件を採択、2件を不採択としました。また、採択された陳情を受けて議員提出された意見書1件についての議案は、賛成全員で原案のとおり可決しました。一般質問は、3日間行われ、16人の議員が市政に対する考え方などについて執行機関に説明を求めました。(2面・3面に一般質問)

主な可決議案

市税条例等の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴い、個人市民税の非課税対象範囲の追加、住民税申告書の記載事項の見直し、軽自動車税の種別割に係るグリーン化特別措置の延長、環境性能割の臨時的軽減措置などに関して、所要の措置を講ずるとともに、その他所要の改正を行いました。

令和元年度一般会計補正予算(第一号)

全国自治宝くじの収益金を財源とした助成金を活用し、自治会が行う地域コミュニティ活動に必要な備品整備を支援することなどにより追加する一方、3月定例会において、繰り越した平成30年度予算と令和元年度予

算に重複計上された額を減額するため、合計1億389万1000円を減額し、予算総額を338億4910万9000円としました。

固定資産評価審査委員会委員の選任

令和元年7月3日に任期満了となる固定資産評価審査委員会委員に、吉川秀夫氏(桜台三丁目)を引き続き選任したい旨の議案が市長から提出され、賛成全員で同意しました。任期は3年です。

※固定資産評価審査委員会とは、固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服を審査決定するために、地方税法の規定により、市に設置する執行機関です。

委員は、議会の同意を得て、市長が選任します。本市の定数は3人です。

天皇陛下御即位を祝す賀詞に関する決議

賀詞

天皇陛下におかせられましたは この度風薫るよき日に 御即位あそばされましたことはまことに慶賀に堪えないところであります

天皇皇后両陛下のいよいよの御清祥と 令和の御代がさらに輝き 希望に満ち溢れた時代となりますことを 心からお祈り申し上げます

ここに伊勢原市議会は 市民とともに 謹んで慶祝の意を表します

市議会の日程

9月定例会の開催予定

- 8月29日(木)本会議 (提案説明)
- 9月4日(水)本会議 (議案審議)
- 6日(金)委員会 (付託審査)
- 9日(月)委員会 (付託審査)
- 12日(木)本会議 (総括質疑)
- 17日(火)委員会 (決算審査)
- 18日(水)委員会 (決算審査)
- 19日(木)委員会 (決算審査)
- 27日(金)本会議 (一般質問)
- 30日(月)本会議 (一般質問)
- 10月1日(火)本会議 (一般質問)
- 3日(木)本会議

*本会議は、午前9時30分からです。

伊勢原市議会 まちづくり検討会議 タウンミーティング(中間報告会)開催

過去2回政策提言した内容に対する進捗状況の報告と今後の活動について発表し、市民の皆様と意見交換いたします。(午前の部・午後の部ともに、同様の内容です。)

開催日時：令和元年8月17日(土)

午前の部

開始：午前10時15分～

会場：伊勢原南コミュニティセンター
1階・集会室

午後の部

開始：午後2時15分～

会場：成瀬コミュニティセンター
1階・ホール

※駐車場に限りがあるため、可能な限り公共交通機関等をご利用ください。

一般質問

6月定例会では、16人の議員が一般質問を行いました。（順不同）

Q&A



一般質問とは、本会議で議員が市政全般にわたって市長等（執行機関）に対して疑問点を質問したり、政治姿勢を明らかにしたりするものです。



高齢者ドライバーの免許の自主返納について
【創政会】 小沼 富夫

Q 高齢者ドライバーの免許自主返納に対し、なかなか手形の補助を求め、見解を聞きたい。

A 【保健福祉部長】 バス事業者による、かなちゃん手形の購入に対する補助も、外出支援策の一つと考えるが、居住地により格差が生じる等の理由からこれまで実施していない経過がある。

今後もしこうした理由から、かなちゃん手形の補助は困難な状況であるが、



このままでは、ごみ有料化
【いせはら未来会議】 安藤 玄一

Q ごみの減量が予定どおり進まなければ、有料化になってしまうということについて、市民に意識を持ってもらうために、さらに、周知すべきであると考えているが、見解を聞きたい。

A 【経済環境部長】 市の広報やホームページ、自治会回覧等、既存の情報伝達媒体による周知のほか、出前講座の開催など、さまざまな機会を活用し、



ひきこもり対策について
【神奈川ネット】 土山 由美子

Q ひきこもる家族のことを相談する場合、相談場所や相談窓口はどこへ行けばいいのか、受け入れ体制は整備されているのか、具体的に聞きたい。

A 【保健福祉部長】 相談があった場合、担当ケースワーカー等において、相談内容を整理し、適切な関係機関と連携を図るなど、当事者に応じた個別支援を行っている。

市では、複数の所属とともに、さまざまな取り組みを行っていることから、

◎「伊勢原大山インターチェンジ」周辺の道路整備について



「誰一人取り残さない」SDGsの取り組みについて
【公明党】 田中 志摩子

Q 未利用食品を消費期限が切れる前にフードバンクへ提供することは、環境保全や災害被災者及び生活困窮者への支援にもなり、SDGsの取り組みにつながる。食品ロス削減推進法に基づき、フードバンクへの支援の取り組みを、市民運動とするために、本市でもフードドライブを定期的に行うことを提案するが、見解を聞きたい。

A 【経済環境部長】 食品ロスを減らす運動を展開することは、ごみの量にも大きく影響するものと考えている。

フードドライブは、一般には、まだ聞きなれない取り組みであるが、市民一人一人が、もったいないという意識を持ち、社会全体で食品ロスの削減に取り組むことが大切である。

◎8050問題について



より効果的な有害鳥獣対策の展開について
【創政会】 長嶋 一樹

Q 有害鳥獣対策については、いまだ根本的な解決がされていない大きな問題の一つであり、農作物への被害やふん害など生活被害が多発している。本市の有害鳥獣対策の状況と課題について聞きたい。

A 【農地利用担当部長】 野生鳥獣による農作物の被害軽減等を図るため、集落環境整備や防護柵の設置、追い払いなどの被害防除対策、わな等による加害鳥獣の捕獲対策を総合的に組み合わせ、被

害防止を図っている。今後、それぞれの家庭に合わせた適切な支援につなげられるよう関係機関と連携を図りながら対応していく。

◎「不登校の対策について

◎「不登校の対策について



高齢者の移動支援について
【創政会】 米谷 政久

Q 高齢者の移動支援は、置かれている個別の状況により、その対応策が異なることが多くなると思うが、現状の公共交通サービス形態においても、一定の支援を講じることが可能であると考えているが、見解を聞きたい。

A 【都市部長】 現状の公共交通サービス形態による高齢者の移動支援のみならず、乗車に焦点を当てると、乗り物が人に合わせるオンデマンド方式が基本になる

と考えている。



子育てと仕事の両立のための制度の充実を
【日本共産党】 川添 康大

Q 保育所等の一時預かり事業は、緊急時の一時的な対応として、利用できない実態がある。早急に改善する必要があるが、見解を聞きたい。

A 【子ども部長】 現在、市内8カ所の保育所等、一時預かり事業を実施しているが、待機児童が多い中、入所児童が優先のため、受け入れが難しい現状がある。ほかに保護者の病気時等に預かるファミリーサポートセンター

について

◎「子ども部長」



子育て世代に選ばれる魅力あるまちづくりに向けて
【創政会】 大垣 真一

Q 定住促進の一環として子育て世代の流入を狙うなど、小児医療費助成の対象拡大及び所得制限撤廃の大きな一歩を踏み出す必要があると考える。県内他市町村と比較したときの本市の現状に対して、今後の方針や必要予算等を踏まえて、どのような見解を持っているのか聞きたい。

A 【子ども部長】 平成31年4月1日時点における対象年齢の県内の状況は、27自治体が中学3年生まで、本市を含む6自治体が小学6年生までとなっ

ている。所得制限については、15自治体が設けておらず、18自治体については、何らかの所得制限を導入している。対象年齢を中学3年生まで拡大した上で所得制限を撤廃する経費は、概算で約7400万円を見込んでいます。今後の方針については、第5次総合計画後期基本計画の中期戦略事業プランに位置づけており、県内自治体の状況等を考慮しながら、制度の拡充について検討していくこととしている。





市道109号線、通学路の具体的な整備の方向性は「創政会」山田 昌紀

伊勢原小学校前から伊勢原大神宮までの市道109号線について、今後の通学路整備において、どのような方向性で取り組んでいくのか、具体的に考えを聞きたい。

【土木部長】市道109号線については、毎年実施している通学路点検において、グリーンベルトの設置要望が出されている路線である。市としても、安全な歩行空間整備が必要な路線として位置づけており、早期の実施を予定している。整備区間については、伊勢原



使い捨てプラスチックを削減するために「いせはら未来会議」橋田 夏枝

プラスチックごみ削減は大切であると考えながらも、便利ことからプラスチック製品を使用してしまうなど、長年の習慣を変えることは決して容易ではない。

本市でも、他市のように、伊勢原プラごみゼロ宣言を行うのはどうかと考えるが、市長の考えを聞きたい。

【市長】プラスチックごみの問題は、毎日のように世界的な問題として報道されている。抜本的に解消するためには、消



市民の理解を得ながら進める財政健全化の取り組みについて「いせはら未来会議」相馬 欣行

国道246号バイパス工事の遅れなど、全てが本市の原因ではないが、政策策定や事業進捗のスピード感を心配している。

また、人、福祉、まちづくりに必要な投資を行うことで魅力あるまちづくりを実現し、今必要なことを見定め、決断すること、将来が見えてくるものと考えるが、市長の見解を聞きたい。

【市長】就任して以来、一番先に取り組んできたのが財政の健全化であり、職員に対しては常に、市民目線、費用対効果、スピード感を持って対応す



「次の世代の命を守る」安心・安全な通学路確保を「公明党」今野 康敏

全国各地で発生する通学路における交通事故は、子どもたちの命をどう守るのか、改めて考えさせられる事件であり、対策を急がなくてはならない。

本市の通学路の安全点検の現状と課題認識について、聞きたい。

【学校教育担当部長】教育委員会では、毎年全ての小中学校において、関係者が学校から通学路を歩いて、通学者の視点で安全点検を行っており、点検により把握した改善



誰もが楽しめる公園づくりについて「公明党」中山 真由美

近年の気温上昇により、6月でもすでに暑くなっている。公園は、日陰が少ないため、遊具がとて暑くなり、やけど等になる可能性もあるが、暑さ対策の取り組みについて、見解を聞きたい。

【都市部長】本市の街区公園のうち、27箇所の公園にあずまや等、日陰をつくる施設を設置している。また、公園の樹木は木陰を作り出すが、住宅地では、隣接地への影響から、剪定するなど、木陰をつくる大きな木を育てることが難しい状況



高齢化に伴う筋力低下に對しての予防について「創政会」大山 学

健康的な日常生活を送る上で要となるのが、支障なく自由に体を動かせることであり、それを担っているのが、筋肉である。

生活習慣病を予防する取り組みとともに、健康で自立した生活を送ることができるよう、筋量、筋肉の維持、増進を図るための取り組みが必要であると考えるが、見解を聞きたい。

【健康づくり担当部長】介護予防の観点からも、取り組みの必要性について



小学生の通学安全確保について「日本共産党」宮脇 俊彦

市道2号線沿いの一部では、3年程前から住宅が造成され、桜台小学校への通学路は、そこからグリーンベルトのない狭い片道1車線の道路を約600m歩いて通っている。市は、この場所が、子どもたちにとって非常に危険な場所という認識を持っているのか。

また、通学路点検においても、学校及び地元自治会からも安全対策を求める要望が出されている。具体的な対応について、見解を聞きたい。



市民の森ふじやま公園について「創政会」埴田 巖

市民の森ふじやま公園は、道具等の整備が行き届いていない現状と、危険と感じる箇所も見受けられる。幼児から高齢者まで楽しめる、魅力ある公園の再整備を望むが、今後の展望について、見解を聞きたい。

【都市部長】公園施設の老朽化への対応は、公園施設長寿命化計画に基づき、令和元年度までに47公園、69遊具の更新整備を進めている。引き続き、国の交付金を活用しながら、計画的に推進するため、今年度

【学校教育担当部長】当該箇所については、学校や地域から要望などが上がっており、危険性のある場所として認識している。また、安全確保のための対策が必要との認識については所管の部署と共有しており、今後所管部署が計画的に対応していく。

【その他の質問】2019年度4月の県議会議員選挙・市議会議員選挙の結果を受けて、◎洪水・浸水対策について

は、次期5カ年の長寿命化計画を作成する。計画の作成に当たっては、公園施設の機能、安全性等の健全度調査を実施し、年度ごとの費用の平準化やライフサイクルコストの削減効果などを検討し、本公園も、対象施設として調査を進めていく。

また、新東名高速道路の開通し、高速道路や周辺地域から見える本公園の眺望や、公園から望む景観も素晴らしく、本市の魅力として磨きをかけていく必要があるものと考えている。

6月定例会の審議状況

○は賛成 ■は反対

番号	件名	創政会										いせはら未来会議		公明党		共産党		神奈川	光風会	議決結果	
		米谷政久	大垣真一	長嶋一樹	小沼富夫	多田 嚴	大山 学	越水 清	山田 昌紀	八島 満雄	橋田 夏枝	安藤 玄一	相馬 欣行	田中志摩子	今野 康敏	中山真由美	宮脇 俊彦	川添 康大	土山由美子		越水 崇史
議案第23号	市税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	○	○	可決
議案第24号	介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第25号	火災予防条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第26号	令和元年度一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第27号	物件供給契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第28号	固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議員提出																					
議案第1号	天皇陛下御即位を祝す賀詞に関する決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第2号	教職員定数改善、教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情																					
陳情第5号	奥山等の杉・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税で計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	不採択
陳情第6号	伊勢原市情報公開制度の改善を求める陳情	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	■	不採択
陳情第7号	子どもたちに豊かな学びを保障するために、教職員定数改善、教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採 択

市民の意見を国政に反映させるため 意見書を提出しました

●教職員定数改善、教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書

近年、学校現場に対する家庭や地域からの要望は多様化・複雑化している。また、次期学習指導要領の実施に向けては、外国語科の導入における人員不足や、プログラミング教育におけるICT環境の地域間格差などの課題が顕在化してきている。

子どもたち一人一人へのきめ細やかな対応や学びの質を高めるための教育環境を実現するためには、教職員定数改善と教育予算の増額が不可欠である。

しかし、義務教育費国庫負担制度は、国負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられ、自治体財政を圧迫し、教育条件の格差が生じているのが現状である。

義務教育の根幹は、全国どこでも一定の教育を子どもたちに保障するものであるため、自治体の財政状況に左右されることなく、安定した義務教育を実施するためには、義務教育費国庫負担制度の堅持は重要である。

よって、国におかれては、子どもたちに豊かな教育を保障するために、次の事項の実現を図られるよう、強く要望する。

1 子ども、保護者のニーズに応じたきめ細かな教育を実現し、豊かな教育環境を整備するため、基礎定数化を含めた計画的な教職員定数改善を早急に推進すること。

2 豊かな学びの環境を創出し、保護者負担軽減のため、教育予算を増額すること。

3 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに、国の負担を最低でも従前の2分の1まで拡充すること。

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、
総務大臣、財務大臣、文部科学大臣



議会 日誌

6月	7月
7日～28日 ・6月定例会 18日・総務常任委員会 ・産業建設常任委員会 19日・教育福祉常任委員会 25日・議会運営委員会 28日・議会広報委員会	2日・秦野市伊勢原市 環境衛生組合議会 3日・山口県山陽小野田市 議会視察来庁 19日・全員協議会 ・会派代表者会議 ・議会広報委員会 22日・県央八市議会議長 連絡協議会定例会 議長研修会

会議録をご覧ください

議会だよりでは、各議員の質問・答弁の一部を要約し、掲載しています。

詳しい内容は、市議会ホームページの会議録検索システムか、

会議録をご覧ください。

会議録は、図書館、市役所1階市政情報コーナーなどでご覧いただけます。

（発行時期は議会事務局までご確認ください）

編集後記

6月定例会は6月7日から6月28日までの22日間開催され、市長提出議案、議員提出議案等を可決、同意しました。

近年では、高齢者や子どもたちが関わる交通事故が多発し対策が急がれる中、一般質問において、多くの議員からさまざまな視点で質問が出され、本市の今後に向けた対応策の改善が求められました。



議会広報委員会

- 委員長 安藤 玄一
- 副委員長 米谷 政久
- 委員 今野 康敏
- 大垣 真一
- 宮脇 俊彦
- 長嶋 一樹
- 多田 嚴
- 八島 満雄

さまざまな発信、努力を
してまいります。
（副委員長 米谷）